

## 県と公立大学法人福島県立医科大学による懇談会の概要

日 時：平成20年1月17日（木）午前2時～午後3時

場 所：県庁本庁舎2階応接室

出席者：県 側：佐藤雄平知事、穴沢総務部長、赤城保健福祉部長

法人側：高地英夫理事長、菊地臣一副理事長、丹羽真一理事、藤田禎三理事、  
平子健理事、野崎洋一理事、中山洋子看護学部長

- 1 知事あいさつ
- 2 理事長あいさつ
- 3 出席者紹介

### 4 懇談会開催主旨説明

この懇談会は、県政と大学運営の連携を確保し、県民の期待にこたえ得る魅力ある大学づくりを進めるため、大学の運営主体である法人と法人の設立団体である県が大学運営の重要事項について意見を交換するため、昨年度に引き続き、開催する。

### 5 公立大学法人の運営状況等について

- ・ 今年度の取組み等について、公立大学法人福島県立医科大学高地理事長から説明を受けた。

#### 意見交換

- （県）医師の定着について関係機関と連携を図ってよろしくお願ひしたい。以前、研修医との懇談会に参加させていただいたが、地域で大切にされたとの話があった。
- （法人）医大では初期研修での定着率は低い、後期研修での定着率は高い。福島が首都圏に近く、初期研修で一度県外に出た方が後期研修で県内に戻ってくることもあってはどうか。また、高度な医療を学ぶには人とのネットワークが大切である。医大としても初期研修、後期研修ともに地域への定着に向けて学生に話をしていきたい。
- （法人）ホームステイ研修を通じて地域住民と親密になるとともに、地域のニーズも把握できるようになる。
- （県）医療崩壊という話があるが、特に診療科の偏りではないか。経済的なインセンティブも必要かもしれないが、先生方には6年間の教育で必要とされる診療科への誘導をお願ひしたい。
- （法人）全国的に見ると本県は小児科医の輩出率が高いが、産婦人科医の輩出率は低い。実際は医療崩壊ではなく、病院崩壊である。やはり医師も休養できて金銭的にも余裕がないと患者に優しくできない。県から助手枠を認めていただいて身分が安定し待遇が改善している。今は大学病院は医療に関して最後のよりどころである。他県と違って本県では助手を増やしていただいており非常に感謝している。7対1基準取得に向けた看護師増も注目されている。ついては、増員した看護師の退職手当の財源措置もしていただけるとありがたい。
- （県）助手枠を本県で増やしたのは本当に画期的なことである。
- （県）医師については絶対数を維持しながら地域に定着する仕組みをつくってほしい。
- （法人）そろそろ、民間・公的病院という区別はなくなっていくのではないかと。

- ( 県 ) 民間病院と公的病院とでは役割が異なる部分もある。
- ( 法人 ) そろそろへき地という概念を取り払わないといけないのではないか。自治医科大学のあり方も考える必要がある。今度の定員増で医大の中に自治医大枠ができたようなものである。地域枠については先生方にも一生懸命PRしてもらっている。
- ( 県 ) 県としては奨学金制度もつくった。
- ( 法人 ) 地域枠については25名を用意しているが、県外出身者が5名に満たなければ県内出身者を20名以上確保したい。
- ( 県 ) 奨学寄附金への寄附の制約はあるのか。
- ( 法人 ) 利害関係者からの寄附は受け取らないという自主的なルールを設けている。病院、製薬会社、個人からの寄附は受け入れている。
- ( 県 ) 半導体の分野と連携した研究はできないか。
- ( 法人 ) NEDO(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)との研究は一例であるが、トラスレーショナルリサーチセンター(大学における基礎的研究成果を臨床応用するための体制)についても検討している。
- ( 法人 ) 本学の看護師の卒業生は500人あまりとなっている。これらの看護師をどうやって地元に戻すのかを検討している。発想を転換して雇用のあり方を考えるべきであり、専門性をもって帰ってきた人をきちんと処遇すべきである。  
県の医療ビジョンを示してほしい。地域医療のシステムの構築が必要である。看護の力が強くなると医師のサポートも十分できる状況になる。
- ( 法人 ) 教育は時間のかかる話であり、医師確保は量だけでなく質の確保も必要である。  
法人化で今後出てくるであろうデメリットをどう出さないようにしていくかが課題である。

## 6 お礼のあいさつ(佐藤知事)

就任2年目であるが、企業立地、二地域居住に取り組んでいる。そうになると必要なのは医療も含めた安全・安心である。男性の60%が地方で暮らしてもいいと思っても、女性の割合は12%である。医療も含めて地方で暮らすことに不安があると思う。医療は大切であり今後ともよろしくお願いしたい。